

## 研究紀要の掲載に寄せて

昨年度に引き続き、「教育改革」の流れが急速に進展しています。今年度、12月21日には、中央教育審議会より答申「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等」が出され、これからの学校教育の在り方が示されました。その中では、よりよい学校教育を通してよりよい社会を創るという目標を学校と社会が共有する「社会に開かれた教育課程」が目指すべき理念のひとつとされています。

これからの複雑で予測困難な時代を前向きに受け止め、子どもたちが自らの人生をどのようにより豊かなものにしていくのか、そのために、どのような資質・能力を身に付け、社会とどう関わっていくのか、我々は、こうした視点をもって教育活動に携わっていく必要があります。

本センターでは、未来に生きる子どもたちの姿を常に頭の中に描きながら、様々な分野の研究に取り組んできました。「研究から研修へ」という合い言葉が示すとおり、研究の成果を基盤とした研修や学校等への支援のよりよい在り方を模索し続けています。研究成果に裏付けられた研修や学校等への支援を充実させ、必要な時、必要に応じてそれらを提供していくことこそ、本センターとしての大きな役割を果たすことになると考えています。同時に、「社会に開かれた教育課程」に寄与すべく、学校教育のみの枠組みにとらわれない教育の在り方を研究し、推進していくことも大きな使命であると捉えています。

本紀要には、本年度完成した研究の成果をまとめました。同時に、その成果を広く学校等へ発信するために、センターホームページ上に掲載しています。学校が直面する課題の解決に向け、本センターの研究を少しでも役立てていただければ幸いです。

結びに、研究に際して、御協力をいただきました学校並びに関係教育機関の方々に厚く御礼申し上げます。

平成 29 年 3 月

静岡県総合教育センター  
所 長 吉澤 勝治